

学位論文審査結果の要旨

博士課程 甲	第 号	氏 名	甲坂 直美
審 査 委 員		主 査 氏 名	石田 康
		副 査 氏 名	湯川 修弘
		副 査 氏 名	三澤 尚明
[論文題名]			
<p>Association between lithium in tap water and suicide mortality rates in Miyazaki Prefecture (宮崎県における上水中のリチウム濃度と自殺率との関係) Environmental Health and Preventive Medicine, 25:26, 2020, DOI: https://doi.org/10.1186/s12199-020-00865-6</p>			
[要 旨]			
<p>最近海外や国内の調査で、上水中のリチウム濃度と自殺率に負の関連があると報告されたが、上水中のリチウム濃度と自殺率に関連はないとする報告もあり、一定の見解はない。リチウムは精神科領域で使用される薬剤で、主に双極性障害の治療に用いられており、自殺リスク低減効果が報告されている。しかし治療濃度に比べて、上水中のリチウム濃度は微量で、自殺を抑制する可能性や機序については更なる検証が必要である。そこで自殺率の高い宮崎県において、上水中のリチウム濃度と自殺率の関連について、他の関連要因を考慮し解析を行った。</p> <p>単変量解析および交絡因子を考慮した多変量解析において、男女共にリチウム濃度と標準化死亡比に関連を認めなかった。しかし男性において、高齢化率および年間降水量と標準化死亡比に正の関連を、また女性では高齢化率と標準化死亡比に正の関連を認めた。</p> <p>本研究では、宮崎県における上水中のリチウム濃度と自殺率に関連を認めなかった。しかし、高齢化率および年間降水量との関連が示され、またリチウム濃度と自殺率に一定の傾向が示唆された。上水中のリチウムの抗自殺効果を検証するためには更なる研究が必要である。</p> <p>審査委員は、学位論文に値すると判断した。</p>			

最終試験結果の要旨

博士課程 甲	第	号	氏 名	甲坂 直美
審 査 委 員			主 査 氏 名	石田 康
			副 査 氏 名	湯川 修弘
			副 査 氏 名	三澤 尚明
[要 旨]				
学位申請論文の内容およびその関連領域について、口頭で試問を行った結果、学位に値する学力を有するものと判断した。				